

# 災害廃棄物処理モデル事業〈模擬訓練とハンドブック〉

京都府宇治市人権環境部まち美化推進課 岩崎 享史

## 令和4年住民啓発モデル事業（近畿ブロック）

実施内容	実施時期	詳細
第1回 ワークショップ	令和4年 9月17日（土）	基礎講座 災害廃棄物について認識の共有
第2回 ワークショップ	令和4年 10月29日（土）	模擬訓練 実際にゴミを出してみる
第3回 ワークショップ	令和5年 1月22日（日）	ハンドブック案等について の意見交換

## 模擬訓練の流れ

事前に災害廃棄物として  
排出する退蔵品を調査

各家庭で準備

住民仮置場（公園）まで運搬  
（希望された方は市で回収）

集積された災害廃棄物（退蔵品）  
を住民仮置場から搬出（市職員）

令和4年度災害廃棄物処理住民啓発モデル事業  
宇治市 住民向け模擬訓練のご案内

◆事業の概要

- 近年の自然災害においては、被災者から排出された片付けごみが、路上や公園等に適切に集約・処理されず、放置されている現状です。
- 対策として、住民やボランティアに対する広報が重要になります。自治体も職員の中で十分な対応がとれていないのが現状です。
- 本事業は、平時から自治体による住民向けの災害廃棄物処理に係る広報手段や説明会等、効果的な普及啓発への取組を支援するものです。

◆模擬訓練について

- 宇治市福島の住民の方及び市職員を対象に、災害廃棄物（退蔵品）搬出模擬訓練を実施します。
- 当日は、記録のため写真や動画を撮影を行いますので、ご了承ください。
- 模擬訓練は、実施前日の午前中、実施時刻の2時間前までに、住民向けマニュアルを作成します。
- 主催：環境省近畿地方環境事務所、宇治市まち美化推進課（22-3141代）

◆模擬訓練日時・場所

日時：令和4年10月29日（土）10:00～11:00  
場所：福島公園（京都府宇治市福島町北内156）

◆模擬訓練のプログラム

プログラム	自己時間	具体的な内容
事前準備 ＜全員共通＞	当日まで	事前アンケートの内容に合わせて、当日受付の仕様に提出いただいた退蔵品（A）と、事前に準備した「災害廃棄物（退蔵品）」に間違いがないように張り付けていただく様式（B）を、事前に配布いたします。 ●参加者の情報は、実行委員（A）と退蔵品貼り付け様式（B）を、事前に配布いたします。間違いがないよう準備をお願いいたします。
①市の職員による	9:00～9:45	事前アンケートで回収を希望された方については、自宅前まで回収希望です。9:00までに、排出予定の「災害廃棄物（退蔵品）」を、自宅前に出していただきます。 ②ご自身で
②ご自身で搬入される方	10:00～11:00	市職員が搬入している間に、準備していただいた「災害廃棄物（退蔵品）」を搬入していただきます。 ●事前に配布した受取票（A）を受付係に提出していただきます。 ●市職員が搬入した退蔵品（退蔵品）を指定の場所に搬入していただきます。搬入が完了したら、ご帰宅ください。

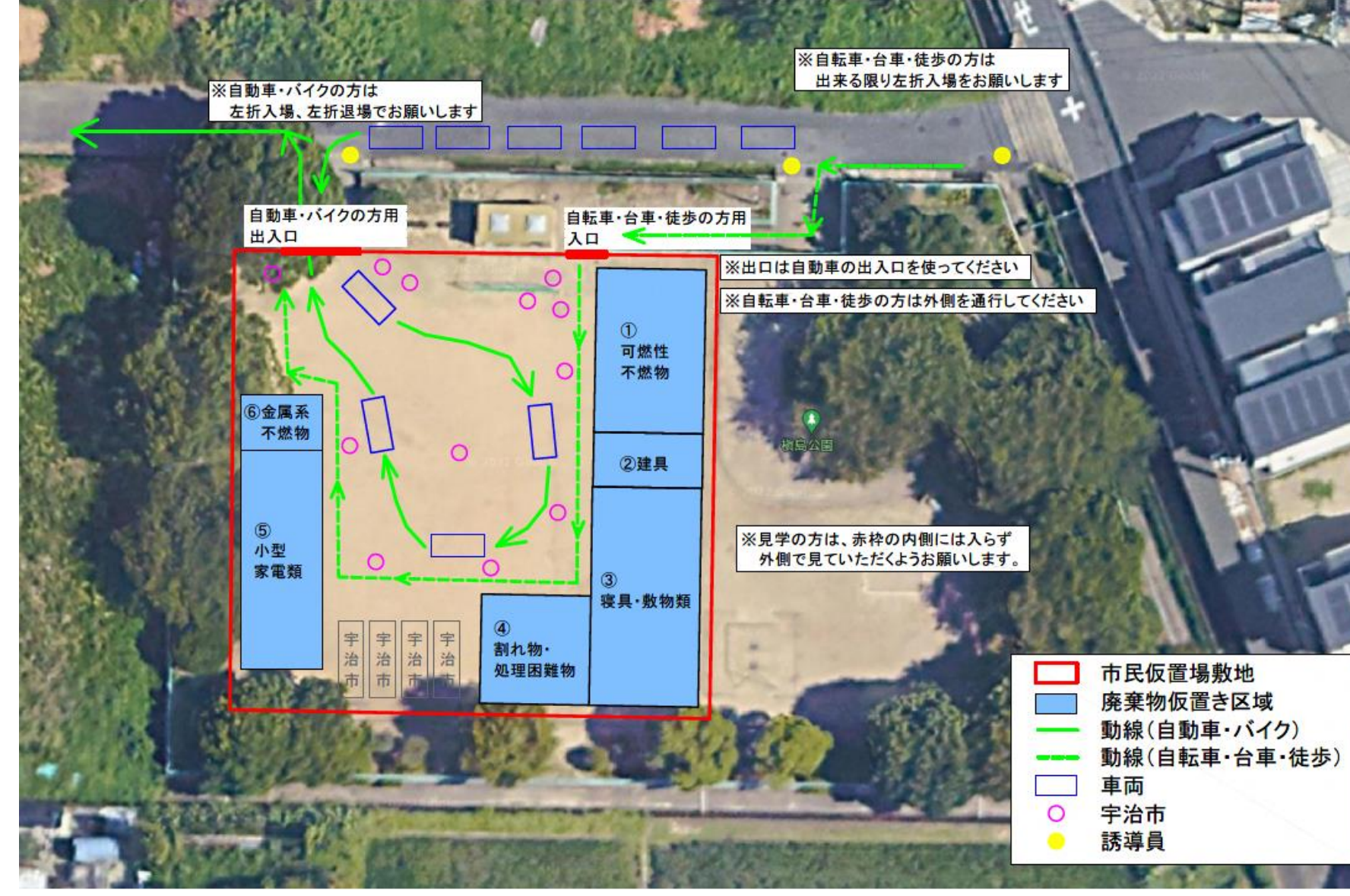
◆【注意事項】

- ご自宅からの搬出作業、市民仮置場での荷下し作業の際は、手箱を挟んだり、転倒したりしないよう、十分注意して作業をお願いします。
- 事前に市民仮置場のレイアウト等を掲載しておりますので、事前に確認をお願いします。
- 自転車・バイクの方向、自転車・台車・徒歩の方は、入場をお願いします。
- 自転車・バイクの搬入される方は、人数・人数、住所等を確認をお願いします。
- 自転車・台車・徒歩で搬入される方は、反動入場をお願いします。
- 自転車・台車・徒歩で搬入される方は、片側通行をお願いします。
- 市民仮置場内は、車道と人が立ち回る場合が想定されますので、職員の誘導に従って十分気を付けて作業してください。

配布チラシ

## 模擬訓練

【配置図】



【搬入の様子】



【搬入後】



## ワークショップ

【第2回 訓練後】

	ごみを出してみても困ったこと、わからなかったこと	どうすれば解決できるか
運び出し	<ul style="list-style-type: none"> <li>リアカーがあるとよかった</li> <li>引き戸や扉が障害となった</li> <li>運び出し要員が土足で入るかどうかで作業性が変わる</li> <li>家屋を傷つけないような配慮が必要になる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建具を外す人員や運び出し専門の人員を配置</li> <li>回収車の手配</li> </ul>
住民仮置場	<ul style="list-style-type: none"> <li>場内の動線がわかりにくい</li> <li>荷下しの順番と積込の順番があっていなかった</li> <li>ごみの分別表記がわかりにくい</li> <li>荷下しに時間がかかった</li> <li>受付は1箇所の方がよい</li> <li>仮置場内での整理は誰がするのか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誘導なしでも入退場できる案内表示の設置（イラストやピクトグラム）</li> <li>区分の枠を大きくし、仮置場で分別</li> <li>大型ごみは奥側に配置</li> </ul>
情報周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢世帯への周知や支援が必要</li> <li>自治会に入っていない方への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢世帯への日頃からの声掛け</li> <li>日頃からの近所、防災会議、町内会でのコミュニケーション</li> <li>実際の災害での区分や持ち込み可能時間等、早期の周知</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクル家電の取扱い</li> <li>市職員がいない場合の対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日頃から不用品を減らす活動</li> </ul>

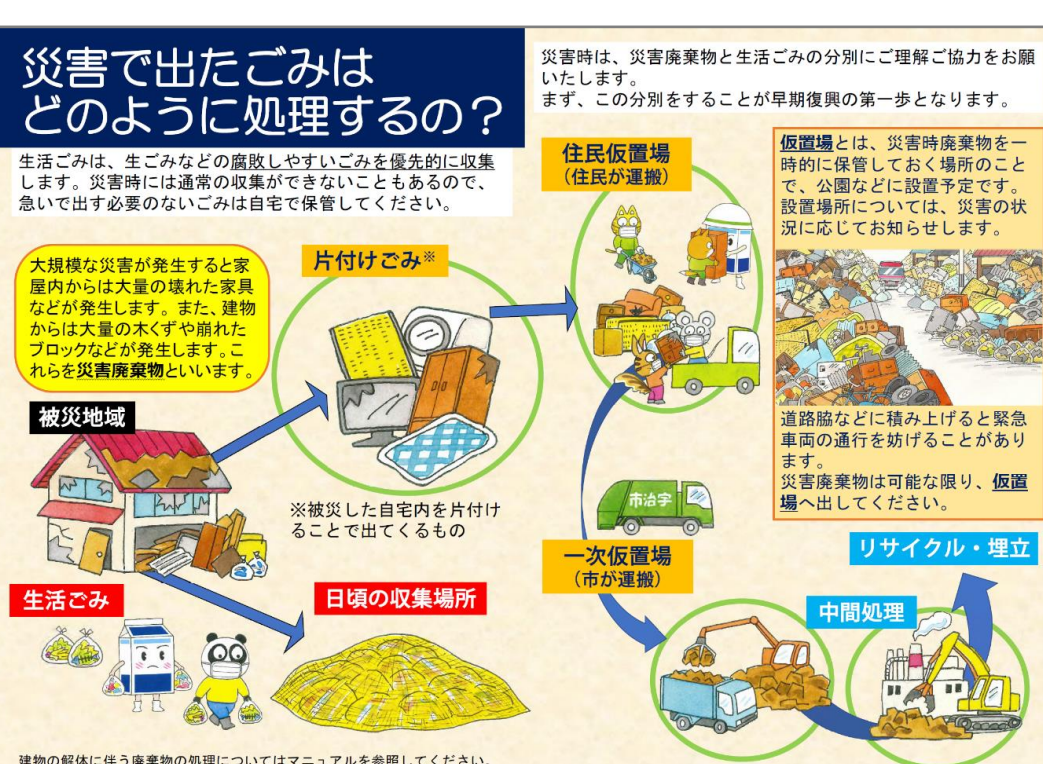
【第3回 意見交換】



令和3年度に試作した  
ハンドブック表紙

### ■ハンドブック等に掲載してほしいこと

- 災害廃棄物とはどんなものか具体例
- 集めたごみをどう処分するか
- 分別の仕方が小中学生にも分かる様に
- 日頃からのコミュニケーション
- 不用品の整理
- 仮置場の利用ルール
- 災害ごみと生活ごみとの区別
- 熱中症対策
- 写真や絵などでなるべくわかりやすく
- 緊急車両・ごみ収集車等の通行の妨げになるので、道路脇に出さないことを強調する



3回のワークショップを経て  
完成したハンドブック

## 課題と今後の展望

【課題】

### ■仮置場

- 適地が少ない
- 人員確保

### ■災害廃棄物処理計画

- 未策定
- 職種による業務分担と人事異動

【今後の展望】

### ■仮置場の確保

- 内部情報として市有地の把握
- 民間企業との協定内容を再確認

### ■人員の確保

- 初動マニュアルの作成と共有
- 日頃から行政、防災会議、住民とのコミュニケーション
- 出前講座や訓練の実施

### ■計画の策定

- 現在、担当事務職員と協力しながら策定作業中
- 今年度中に公表予定
- 合わせてハンドブックも公開予定

### ■その他

- 職場内で災害廃棄物の担当を設置
- 研修の継続